

コワイ女 (2006)

メディア 映画
 ジャンル ホラー
 製作国 日本
 色彩 Color
 時間 107分
 初公開日 2006/11/25
 公開情報 アートポート

【解説】

運命のいたずらで“コワイ女”に出会ってしまった3人の男女の恐怖を描いたオムニバス・ホラー。結婚を控えたOLが不条理な怨念の渦に巻き込まれる絶叫系ホラー『カタカタ』、頭からズタ袋をかぶった女に翻弄される青年の苦悩を描いたオフビート・ホラー『鋼-はがね-』、母から娘へと伝わる呪われた血筋が悲しい運命を招く心霊ホラー『うけつぐもの』の全3作。主演は中越典子、柄本佑、目黒真希。監督は雨宮慶太、鈴木卓爾、豊島圭介。

結婚を控えたOL・吉沢加奈子は、前妻と離婚したばかりの婚約者・田崎晃と会った帰り道で”カタカタ…“という奇妙な音を聞く。帰宅した彼女のもとに“別れた女房に刺された”という晃からの電話が。そして、背後には包丁を手にした異形の女の姿が…『カタカタ』。自動車整備工場で働く関口幹夫は、夜道で頭からズタ袋をかぶった人間に体当たりをくらう。翌日、工場の社長・高橋鉄からかわいい少女が写った写真を見せられ“妹とデートしてやって欲しい”と頼まれるのだが…『鋼-はがね-』。離婚を機に一人息子の道男を連れて実家のある田舎に戻ってきた菱川冴子。その家で、道男は自分と同年代の少年の写真を見つける。それは7歳のときに行方不明になった冴子の兄・正彦だった。やがて、冴子様子はおかしくなり、道夫への態度が豹変し始める…『うけつぐもの』。

【クレジット】

監督	雨宮慶太	「カタカタ」	
	鈴木卓爾	「鋼-はがね-」	
	豊島圭介	「うけつぐもの」	
監修	清水崇	Takashi Shimizu	「うけつぐもの」
	製作	三宅澄二	
プロデューサー	大月俊倫		
	高野力		
	古玉國彦		
	佐々木史朗		
原案	小松万智子		
	山口幸彦		
	佐藤美由紀		
	雨宮慶太	「カタカタ」	
脚本	山本直輝	「鋼-はがね-」	
	豊島圭介	「うけつぐもの」	
	清水崇	Takashi Shimizu	「うけつぐもの」
	雨宮慶太	「カタカタ」	
	鈴木卓爾	「鋼-はがね-」	
	山本直輝	「鋼-はがね-」	

音楽	豊島圭介		「うけつぐもの」
	ゲイリー 芦屋 Gary Ashiya		
出演	中越典子	吉沢加奈子	「カタカタ」
	小林裕子	カタカタ	「カタカタ」
	豊原功補	田崎晃	「カタカタ」
	柄本佑	関口幹夫	「鋼-はがね-」
	菜葉菜	高橋鋼	「鋼-はがね-」
	香川照之	高橋鉄	「鋼-はがね-」
	目黒真希	菱川冴子	「うけつぐもの」
	須賀健太	菱川道男	「うけつぐもの」
	松岡俊介	梶望	「うけつぐもの」
	左時枝	菱川敏江	「うけつぐもの」